

貯 法：遮光し、室温保存

使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）

注 意：取扱い上の注意参照

承認番号	22200AMX00385
薬価収載	2010年11月
販売開始	2010年11月
再評価結果	1983年4月

外用殺菌消毒剤

アクリノール水和物原末「ニッコー」

ACRINOL HYDRATE 「NIKKO」

日本薬局方 アクリノール水和物

【組成・性状】

1. 組成

本品 1g 中 日局アクリノール水和物 1g 含有。

2. 性状

本品は黄色の結晶性の粉末である。

本品は水、メタノールまたはエタノール（99.5）にやや溶けにくい。

本品 1g を水 100mL に溶かした液の pH は 5.5～7.0 である。

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アクリノール水和物 (Acrinol Hydrate)

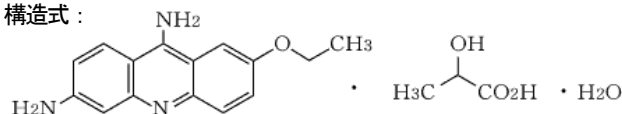
化学名：2-Ethoxy-6,9-diaminoacridine monolactate monohydrate

分子式： $C_{15}H_{15}N_3O \cdot C_3H_6O_3 \cdot H_2O$

分子量：361.39

融点：約 245°C（分解）

構造式：



【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・容量	希釈倍数
化膿局所の消毒 泌尿器・産婦人科術中術後、化膿性疾患（癰、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎）	0.05～0.2% の液として使用する。	本品を 500～2000 倍に希釈して用いる。
口腔領域における化膿局所の消毒	0.05～0.1% の液で含嗽する。	本品を 1000～2000 倍に希釈して用いる。

【取扱い上の注意】

衣類、流し等に付着すると黄色に着色変色し、脱色しにくくなるので、直ちに水で洗い流すなど注意すること。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
皮膚 ^{注1)}	潰瘍、壊死、塗布部の疼痛・発赤・腫脹等
過敏症 ^{注2)}	過敏症状

注1) このような症状があらわれた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

2. 適用上の注意

外用にのみ使用し、内服しないこと。

【薬効薬理】

グラム陽性・陰性菌に有効で、特にれんさ球菌、ウェルシュ菌、ぶどう球菌、淋菌に対し、静菌及び殺菌作用がある。その作用機序は、生体でアクリジニウムイオンとなり細胞の呼吸酵素を阻害するといわれている。

生体組織にほとんど刺激を与えず、血清やたん白質の存在下でも殺菌力は低下しない。

製造販売元

日興製薬株式会社

岐阜県羽島市江吉良町 1593